

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団 Spring concert



2016年 4月24日(日) 開場13:30 開演14:00

会 場 黒部市国際文化センター コラーレ [カーターホール]

主催 宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員会

富山県黒部市宇奈月温泉6-3 TEL0765-62-2000

主管 黒部まちづくり協議会

共催 黒部市国際文化センターコラーレ/黒部市宇奈月国際会館セレネ

後援 北日本新聞社/北日本放送/富山テレビ放送/チューリップテレビ/株式会社 新川コミュニティ放送/みらーれTV

協力 富山県オーケストラ連盟/富山シティフィルハーモニー管弦楽団

ご挨拶

宇奈月モーツァルト音楽祭実行委員会
委員長 篠崎 秀一

本日は宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団スプリングコンサートに、ようこそお越しくださいました。

「湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月」は、宇奈月温泉のたたずまいがモーツァルトの生誕地オーストリアのザルツブルクに似ていると感じていた町の人たちと、指揮者・横島勝人氏の「宇奈月にはモーツァルトが似合う！」という言葉が会って誕生した音楽祭です。2010年9月に第1回が開催され、3月に北陸新幹線が開業した昨年は、シルバーウィークの9月19日（土）～21日（祝）の3日間にわたり過去最高の参加者と観客聴衆により、これまでにない盛り上がりを見せました。

この音楽祭の特徴は、期間中演奏される曲がモーツァルトに限られることです。一般から公募した出演者（プロ・アマを問わず県内外から約500人）による無料の「まちかどコンサート」は、温泉街の各所を会場に3日間で70回以上開催され、演奏者と聴衆が間近で触れあえます。そのほか、招待音楽家による演奏会や、「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団」のスペシャルコンサートによって、宇奈月をモーツァルトの音色で包みこみます。また地元商店がモーツァルトやオーストリアにちなんだ食べ物を提供する「おいしいモーツァルト」もあり、音楽に詳しい人もそうでない人も誰でも楽しめることを目指している、市民の手作りによるユニークな音楽祭です。

指揮者・横島勝人氏が音楽祭芸術監督として監修し、モーツァルトの生涯や作品をテーマとした横島氏による「プレミアムトーク」は毎年聴衆で溢れ、音楽祭最終日に開催される横島勝人指揮「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団」によるスペシャルコンサートは、会場の宇奈月国際会館セレネ大ホールが満席となりました。

この音楽祭から生まれた「宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団・合唱団」が地元で根ざした活動を推し進め、愛されるようにと願いをこめて、本日の演奏会を開催いたします。

第一部ではモーツァルトの名曲を若手ソリストの皆様と共に、第二部では交響曲の名曲「プラハ」を、そして第三部ではザルツブルクが舞台となって全世界で愛されている「サウンド・オブ・ミュージック」をご披露いたしますので、どうぞお楽しみください。

今年も9月17日（土）から19日（月・祝）の3日間にわたり第7回となる音楽祭を開催いたします。今月新規オープンいたします総湯「湯めどころ宇奈月」や富山地方鉄道宇奈月温泉駅ホームの足湯「くろなぎ」など、宇奈月温泉のまちかどがさらに充実してまいりました。皆様と共に楽しい音楽祭を作り上げてゆきたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



プログラム

第一部 W.A.モーツァルト

♪ ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K.216より 第1楽章 ヴァイオリン独奏 粟津 惇

♪ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より“手を取り合って” ソプラノ独唱 加藤 恵

♪ 歌劇「魔笛」K.620より“パパパの二重唱” バリトン独唱 門田 宇

♪ アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618

♪ ピアノ協奏曲第20番二短調 K.466より 第1楽章 ピアノ独奏 間部栄司

休憩

第二部 W.A.モーツァルト

♪ 交響曲第38番「プラハ」二長調 K.504

第1楽章 Adagio – Allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Presto

休憩

第三部 ロジャース&ハマースタインⅡ

♪ サウンド・オブ・ミュージック セレクション

1.序曲 ソプラノ独唱 安田裕美

2.サウンド・オブ・ミュージック バリトン独唱 門田 宇

3.ド・レ・ミの歌 ココロ合唱隊

4.私のお気に入り

5.さようなら、ごきげんよう

6.すべての山に登れ

7.エーデルワイス

8.フィナーレ

●指揮 横島勝人

●演奏 宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

●合唱 宇奈月アマデウス祝祭合唱団

出演者

宇奈月アマデウス祝祭管弦楽団

◎= 宇奈月カルテットメンバー

第一ヴァイオリン	◎ 粟津 惇 コンサートマスター	宮本 範子 稲垣 祐香	阿閉 博美 田中 緑	石川 静 名執 純子
第二ヴァイオリン	◎ 青山 英里香	河原 毅 沼田 典子	高野 祐花 又場 龍大	仲井 美賀 野末 愛美
ヴィオラ	◎ 扇 慎也	中 秀晃	原 朝子	藤井 優哉
チェロ	◎ 松井 洋之	新町 栄一 朴谷 修	舘野 祥子 山下 瑤子	西谷 英輔
コントラバス	藤島 晃彦	大西 遼	柳橋 禎子	
フルート	伊藤 ひでみ	摺出寺 敬子		
オーボエ	北岡 明	保科 浩一		
クラリネット	大田 昌子	大西 栞		
ファゴット	岡田 健太	篠崎 秀一		
ホルン	川添 等	坂井 禎	花房 奈央子	
トランペット	荒野 晃代	古井 清紀	古井 未佳	
トロンボーン	大田 昭男	大田 和樹	熊木 雅之	
パーカッション	塩田 惇	片山 康太郎		

宇奈月アマデウス祝祭合唱団

ソプラノ	三井 香 杉沢 禎子	飯田 舞子 寸和 京子	川戸 る美子 中島 弘美	豊田 奈々子 三井 真弓	澤田 明梨 結城 美喜子
アルト	中田 勝代 広川 順子	篠崎 富美子 森 律子	宝田 優孝	竹田 由美	寺島 紀子
テノール	石塚 兼治 田中 哲彦 宮崎 昌訓	石塚 修一 八川 進 米澤 憲二郎	伊東 景治 福田 茂信	上田 洋一 松倉 正機	大崎 晴夫 松原 英樹
バス	飯田 憲司	大森 崇督	島倉 敏夫	藤井 実	米田 幹雄

ココロ合唱隊

指導者 古川鶴美 大森洲季

明谷 幸音	泉 葉月	越 千帆実	澤田 陽花	澤田 淳良
高野 愛弓	中田 茉莉	中坪 綾香	橋本 かなで	藤原 玉絃
古川 香湖	湊屋 知加	湊屋 朋永	村瀬 いずみ	山口 奈津美

指揮 横島勝人 よこしま かつと



大阪生まれ。9歳よりピアノ、大阪音大在学中より指揮を始める。1990年よりウィーン国立音大でL.ハーガー、P.シュヴァルツ、湯浅勇治各氏に師事。90年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、96年ハンガリー国立セグド響主催セミナーでJ.カルマー、E.アッachel各氏に師事。98年キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールベスト8。99年ウィーン楽友協会ホールでトーンクンストラー響ベートーヴェン「第九」、2001年ウィーン郊外でハイドン「天地創造」、03年ブラハ放送響を指揮。00年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトのアシスタント・合唱指揮。05年ライブツピヒのチャリティ・コンサートでバッハ：D短調ミサと「第九」を指揮。06年ウィーンとブラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ特別演奏会」。09年紀尾井シンフォニエッタ東京第68回定期演奏会にてメンデルスゾーン：エリア合唱指揮。09年「国境なき合唱団」ベルリン公演でベルリン・シンフォニエッタを指揮して「第九」を、11年ブラハとライブツピヒで「第九」を指揮。これまでに、ハンガリー国立セグド響、マーフ・ブダペスト響、オランダ放送管、新日本フィル、東京シティフィル、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、京都市響、広島響、岡山フィル、奈良フィル、東京佼成ウインド、大阪市音楽団などを指揮。現在、長野県松本市「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」芸術監督、富山県「宇奈月モーツァルト音楽祭」芸術監督。

ヴァイオリン 粟津 惇 あわづ まこと



東京都出身。桐朋学園大学卒業、同研究科修了。ヴァイオリンを小森谷巧、篠崎功子、室内楽を藤井一興、豊田弓乃、藤原浜雄、東京カルテットの各氏に師事。奨学金を得てウィーン国立音楽大学マスターコースに参加、エドワード・チェンゴフスキー氏に学び、特別賞受賞。イタリア文化会館「日本におけるイタリア2009・秋」にてバルディのダブルコンチェルトを演奏、評価を受ける。現在は東京シティフィルハーモニック管弦楽団1stヴァイオリンフォアシューパー、その他国内オーケストラの客演首席奏者などの他、ソロリサイタル・室内楽コンサート、レコーディングなど活動の場を広げており、後進の指導にもあたっている。

ピアノ 間部 栄司 まへ えいじ



5歳よりピアノを始める。富山県立呉羽高等学校普通科音楽コース卒業。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ハンガリー国立リスト音楽院留学。第21回富山県新人演奏会にて北日本新聞音楽奨励賞と富山県知事賞を併せて受賞。大阪国際音楽コンクール2010入賞。ピアノを故・平野信子、平野春夫、山崎道子、重松聡、グヤーシュ・イシュトヴァーンの各氏に、日本歌曲伴奏法を塚田佳男氏に師事。現在、演奏活動を行う傍ら、園歌や校歌などの作曲活動、また間部栄司ピアノ教室を主宰し後進の指導にあたっている。

ソプラノ 加藤 恵 かとう めぐみ



富山県立呉羽高校卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。第2回高校生のための歌曲コンクール優秀賞を受賞し、イタリアへ短期留学。青少年音楽コンクール声楽部門最優秀賞。富山県高等学校文化連盟賞受賞。平成21年3月に初ソロリサイタルを行う。富山県オペラ協会第3回公演「魔笛」にパバゲーノ役で出演。平成27年度富山県芸術文化協会奨励賞を受賞。これまでに関 定子、鈴木寛一、大島洋子、松本美和子、黒崎隆憲、小松由美子の各氏に師事。富山県オペラ協会、富山県音楽協会会員。

バリトン 門田 宇 かた たかし



富山県立呉羽高校音楽コースを経て、国立音楽大学音楽学部声楽学科を首席で卒業。同大学卒業演奏会出演。大学を代表し、第77回読売新人演奏会出演。2011年初ソロリサイタルを富山県で開催。2014年北陸初男声ユニット「hoBBit」を結成。2015年富山県オペラ協会主催オペラニューイヤーガラコンサートにて、脚本、編曲、出演しパバゲーノ役で好評を得る。ラフォルジュルネ金沢に6年間出演。現在「富山あざみ女声合唱団」「富山観光物産センター友の会合唱教室」「富山カルチャーセンター」指導指揮。ボイストレーニング講師。

ソプラノ 安田 裕美 やすだ ひろみ



魚津市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業後、同大学大学院音楽研究科声楽領域修了。昨年9月に魚津市新川文化ホールにて初のソロリサイタルを開催。富山県を中心に様々な演奏活動を行っている。これまでに声楽を田中薫子、林安喜子、神田詩朗、森川栄子の各氏に師事。現在、女声合唱団「虹の会」、混声合唱団「あるも」ボイストレーナー。富山県オペラ協会芸術会員。富山声楽家協会会員。

ココロ合唱隊

コーレの専属合唱隊として1996年に小中学生で結成。「心を込めて、聴く人の心まで届くように」との想いを込めて「ココロ合唱隊」と命名しました。無理のない自然な発声法による練習を基本にしなが、合唱を通して感性や表現力の向上を目指しています。童謡からクラシックまでそのレパートリーは幅広く、日々の練習の中で歌うことの楽しさ、協力して曲を創り上げていくことの素晴らしさを身体全体で体験しています。毎年秋に定期コンサートを開催する一方、さまざまなイベントに出演しています。

曲目解説

ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K.216

モーツァルトは5曲のヴァイオリン協奏曲を作ったが、第2番と同じ1775年9月にザルツブルクで作曲された。

第1楽章アレグロは、主題を歌劇「牧人の王」の Aria から取っており、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲の特色が遺憾なく発揮された作品である。

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527より“手を取り合って”

初演は1787年10月29日、プラハでモーツァルト自身の指揮で行われた。稀代のプレイボーイ、ドンファン伝説のモデルとなった貴族ドン・ジョヴァンニは、結婚を控えた村娘ツェルリーナを口説き、「手を取り合って」二重唱（身分違いの貴族に口説かれたツェルリーナはその気になってしまう）。

歌劇「魔笛」K.620より“パパパの二重唱”

1791年作曲のモーツァルト最後のオペラで、歌劇「フィガロの結婚」と並んで人気があり、現在でも公演回数が多い。「パパパの二重唱」は2幕の最後で歌われる主人公のパパゲーノと、老女から変身した少女パパゲーナの二重唱で、「パ・パ・パ」という呼びかけ合いで始まる軽妙で陽気な歌。

アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618

「アヴェ・ヴェルム・コルプス」は、ラテン語で「めでたし まことの御体」という意味で、キリストへの感謝と賛美が歌われている。モーツァルト最期の年となった1791年、ウィーン郊外の温泉保養地バーデンで作曲された。当時、モーツァルトの病弱な妻コンスタンツェはここで療養生活を送っていたが、当地の教会の合唱指揮者であった友人に礼として贈られた美しい響きの混声合唱曲。

ピアノ協奏曲第20番二短調 K.466

1785年作曲の短調のピアノ協奏曲。第24番八短調というもう一つの短調による名作があるが、全27曲のピアノ協奏曲の中で最高峰の位置を占めている名曲である。第1楽章アレグロは暗い特異な雰囲気印象深い。この協奏曲を愛したベートーヴェンやブラームスが自ら作曲したカデンツァが残されている。

交響曲第38番「プラハ」二長調 K.504

モーツァルトは既に出来上がった本作品を「プラハ」に持参し、1787年1月19日国立劇場において自らの指揮で初演した。第1楽章アダージョで始まる序奏は、緊張の中に絶妙な転調を繰り返す。アレグロに入り「魔笛」序曲によく似たシンコペートされたリズムに乗って軽快な第1主題が繰り広げられ、優美な第2主題につながる。第2楽章は深い詩情をたたえたメロディが流れる穏やかで繊細優美な緩徐楽章。第3楽章プレストは、フィナーレにふさわしいスピード感とダイナミズムにあふれた楽章。

ご協賛企業

技術とアイデアの交差点 **川端鐵工株式会社** 富山県黒部市生地芦区247

株式会社すがの印刷

富山県黒部市若栗2630

北陸機材株式会社

本社 富山県富山市綾田町1丁目6番22号
黒部営業所 富山県黒部市岡426の5番地

ます寿しの **植万**

富山県黒部市三日市3646

共和土木株式会社

富山県黒部市荒俣1600番地

曲目解説

「サウンド・オブ・ミュージック」

ファミリーミュージカルの傑作「サウンド・オブ・ミュージック」は、1959年にブロードウェイでその幕を開けた。観客から絶大な支持を得ての大成功を受けて、映画「サウンド・オブ・ミュージック」が1965年に初公開され、4年間にわたるロングランとなった。

昨年2015年は映画公開50周年記念イヤーで、映画の舞台となったザルツブルクでは様々なイベントが行われ、現在でも世界中の人々に愛されている。

ストーリーは、1938年ザルツブルク。歌を愛する修道女見習いのマリアは、厳格な家庭トラップ家の7人の子供の家庭教師となる。マリアの明るさと歌で子供たちの心が開かれてゆき、マリアはトラップ大佐と結婚式をあげトラップ家の一員となる。しかしナチスが台頭して、オーストリア愛国者であるトラップ大佐に圧力がかかり、一家は音楽祭に参加してアンコールで「さようなら、ごきげんよう」を歌いながら舞台から去ってナチスから逃れようとアルプスの山々を越えて旅立ってゆく。

- 1 序曲 管弦楽によるテーマ曲の演奏。
- 2 サウンド・オブ・ミュージック 映画の冒頭、ザルツブルクの山並みのシーンでマリアが丘の上で歌うテーマ曲。
- 3 ド・レ・ミの歌

トラップ家の家庭教師となったマリアは、7人の子供たちの信頼と愛情を得ようと、音楽を全く知らなかった彼らに歌うことの楽しさをドレミから教える。子供たちはすぐに上達し楽しく合唱する。この曲は日本語歌詞（ドーはドーナツのドー）により全国に広まり、今や誰もが知っている曲となった。

- 4 私のお気に入り
嵐の夜、子供たちが雷におびえてマリアの部屋に集まり、怖いことを忘れようと楽しいことや大好きなことを歌う。

- 5 さようなら、ごきげんよう
トラップ家で催されたパーティーで、子供たちが一人ずつ「さようなら、ごきげんよう」を会場の皆の前で歌いながら2階の寝室へ去ってゆく。音楽祭で優勝しアンコールでも演奏される。

- 6 すべての山に登れ
トラップ大佐への恋心に気づき修道院に逃げ帰ったマリアに対し、アベス修道院長はトラップ家へ戻り、新しい人生と愛に立ち向かうよう励ます。

- 7 エーデルワイス
トラップ大佐が招待したエルザ夫人を歓迎して歌った子供たちに応じて、トラップ大佐が愛する祖国への想いを込めたエーデルワイスを歌う。音楽祭のステージでも歌うが感極まってしまう。

- 8 フィナーレ 「すべての山に登れ」を出演者全員で歌い上げる。



ご協賛企業

株式会社吉田商会

富山県黒部市沓掛567

桜井建設株式会社

富山県黒部市新町1番地

株式会社黒部重機

富山県黒部市沓掛4359-2

株式会社辻鉄工

富山県黒部市沓掛3259-13

横山冷菓株式会社

富山県黒部市石田978番地

松倉呉服店

富山県黒部市三日市大3117

